

会議名	令和5年度子どもの心の地域子育て支援事業ネットワーク会議
開催日時	令和6年1月18日(木) 18:00~20:00
会場	ZoomによるWEB開催
議題	教育、医療、福祉の連携：地域で支える家族支援 -with コロナの社会における諸問題について-
目的	子どもの心の診療を専門とする医師、小児科医、行政及び教育関係者等によるネットワークを構築することにより、早期に支援の必要な子ども及び保護者を関係機関につなげる仕組みを作り、もって子どもの心の問題について関係者が適切な支援ができるようにすること
出席者	18名 うち県担当者1名、事務局2名 (敬省略・50音順) 【氏名】 【出席者所属】 【職種】 飯野 楓 獨協医科大学埼玉医療センター 総合患者支援センター MSW 井上 建 獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 医師 井上 弘江 幸手市立長倉小学校 校長/埼玉県特別教育研究会会長 内山 未久 草加保健所 保健師 大谷 良子 獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 医師 作田 亮一 獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 医師 鈴木 郁子 光の家療育センター 医師 田嶋 栄蔵 松伏町立松伏第二小学校 校長 服部 純一 星美学園短期大学 客員研究員 星野 崇啓 さいたま子どものこころクリニック 医師 松原 聡子 発達障害総合支援センター 担当課長 森田 陽人 越谷児童相談所 担当課長 柳橋 知佳子 松伏町教育委員会教育総務課 主席指導主事/指導・学務担当 横山 富士男 埼玉医科大学病院 神経精神科・心療内科 埼玉医科大学かわごえクリニック 医師 渡邊 登志子 埼玉県立越谷西特別支援学校 養護教諭 【県担当者】 大沼 暢乃 埼玉県保健医療部 健康長寿課 技師 【事務局】 北高野 美由規、木村 収実
内容	・挨拶 (埼玉県保健医療部健康長寿課) ・家族支援のあり方について(情報提供、御意見等) ・討議 ・次回の検討課題について
総括	教育、福祉、医療の分野で情報共有すること自体に意義がある。多職種が手を取り合い、自由に声掛けができる環境づくりができると良い。子どもの生活には多様性があり、多様性を認めていかなければいけない時代。子どもたちが生活しやすい環境づくりを、各支援者が考えていかなければならない。